

お客さまの声

ふれあいコンサート

9月4日。残暑の京都・春秋座で、加来陽子さんと西野雅人さんによる「心のふるさと ふれあいコンサート」が行われました。会場は、懐かしいと感じた大人たちと、この歌知ってる！とうきょうきの子供たちで賑わいました。当日皆さんにいただいたアンケートの中から、いくつかをご紹介しますと思います。



加来陽子さん

★子供の頃を思い出し、懐かしさでいっぱいでした。素晴らしい声、いつか産まれるであろう孫に聴かせてやりたく思います。(55歳女性)

★Very wonderful! (54歳女性)

★日本の歌がこんなに美しい言葉とは、こころがなごみました。ギターだけのシンプルな、美しい声と力強い歌声がとてもよかったです。(57歳女性)

★勢いだけで来てしまったのですが…聞きホレました！来て良かったです。お声が気持ち良くてギターもすばらしく、

またコンサートして下さい。次もいきます。(28歳女性)

★ギターの音色が素晴らしかった。年一回は公演して欲しい。(70歳女性)

★好感度抜群でした！毎年やって欲しい。(61歳男性)

★まったくの満足感を味わいました。大々満足(71歳男性)

★とても素敵な時間をすごさせてもらいました。胎教にとってもよかったです。(33歳女性)

加来陽子さんの透き通った美しい歌声とやさしい語り口のお話、大人も子供もうっとり。西野さんのギターの音色が重なり合って、とっても心地よい空間になっていました。ご来場いただいた皆さん、アンケートにお答え下さった皆さん、ありがとうございました。

がんばる学生アルバイト2 ケータリングレポート～前進座公演～

芸術文化学科2回生 小林結実

春秋座でアルバイトを始めてそろそろ半年になる。私に与えられたケータリングという裏方の仕事にもだいぶ慣れた。春秋座で行われる公演のメインである歌舞伎はもとより舞台のことに慣れてこればこっちも興味もなかったのに、なんとなく面白そうだったからという理由で始めたアルバイトだ。よく半年も続いたものだと思う。それどころか、このところこの仕事が好きさえるのだ。良い傾向だと、自分では思っている。

まったく持って憎悪ながら、最近“仕事”の“良し悪し”がなんとなく肌でわかるようになってきた。良し悪しと言ってもそれは舞台上のことではなく、あくまでも“裏方の仕事”についてのことである。

先日催された前進座の公演。私が言うのもなんだがこれは稀に見る“良い”公演であった。前進座スタッフの方々の手際の良さにただただ感心した。感心、と言うよりは感動、に近かったかもしれない。仕込みの段階からいつもとは違った。大抵の公演の仕込みは前日に行われるのだが、前進座のときは本番当日の午前中にあった。大量の荷物が載ったトラックのフタが天井につかえて開かないというちょっとオマヌケなハプニングがあったものの、搬入時における指示の的確さ、自ら率先して動く姿勢、公演の途中、使い終わった大道具を片っ端から解体し、次々とトラックに積み込んでゆく彼らの無駄の無い動きに、滲み出るプロフェッショナルのオーラが見えた気がする。ただ単純に格好良かった。

そういえば私たち学生アルバイトも搬入、搬出を手伝ったのだが、かえって邪魔をしていたのではないかと今も不安だ。



公演当日、京都造形芸術大学・春秋座前に翻るのぼり

舞台の素

きひょうしぎ 柝(拍子木)の巻

みなさまがお座りになっている座席から見て左の下手側、黒い袖幕の奥には、舞台の進行を握っている舞監こと舞台監督が時計を片手に指揮をとっています。劇場では、時間をお知らせするブザーが流れていますが、歌舞伎小屋では今も変わらず拍子木が時を告げています。このチョンチョンの合図、歌舞伎などの古典物の時は春秋座でも健在で拍子木を打つ方が舞監として舞台の時間を流しています。開幕前、上手から上の楽屋(春秋座の楽屋は2・3階にあります)からとチョンチョンの音が響き、ピリッとした空気が流れます。役者も揃い準備万端のチョンチョン、鳴物に合わせ柝を刻んで幕を明け、明けきったところで止め柝のチョン。お芝居が始まった…なんといっても響きが大切！堅い柝材の一本を二つに割って削っているそうです。楽器と同じで打つ方のコンディションなどが音に移ります。

チョンチョン！今日は、どんないい舞台に出会えるかしら…

(中山)



編集後記



前進座公演
「三人吉三白浪」

春秋座に雪が降りました。9月27日、季節はずれの雪でした……。前進座公演を学生に宣伝するにあたり劇場事務所では、日夜「三人吉三白浪」について勉強しました。140年も前に書かれたこの物語が、今読んでもショッキングで激しく、また複雑な話がよく構成されていることを知り、びっくり。公演当日、のぼりも立ち(最高ー！)、芝居ムードは高まりました。外は寒々とした雨模様でしたが、会場内には、春秋座始まって以来の雪が降り、宣伝にもかかわらず、古典というだけでそっぽを向いて見逃した学生達が後悔するような素敵な舞台でした。思わず前進座手ぬぐい(松竹梅でメダタイ)を買ってしまいました。

編集
京都芸術劇場
企画運営室
ディレクション
西川真由実
デザイン
福井瑞穂
発行月
2002年11月

京都芸術劇場春秋座友の会季刊誌

春秋

KOYOMI

SINCE 2002 AUGUST

第2号 2002年11.12.1月

特集

茂山狂言会 唐相撲千秋楽

2002年12月21日(土)



京都芸術劇場
春秋座

茂山狂言会唐相撲千秋楽 特集 インタビュー

インタビュー 西川 真由美

茂山狂言会唐相撲千秋楽、春秋座公演をひかえ、好きな花は「コスモス。」という茂山千三郎さん、「かすみそうと、きんもくせい。小さい花が好き」という茂山正邦さんのお二人にお話を伺いました。

○12月に春秋座で唐相撲が千秋楽を迎えられますが、今公演は何ヶ所くらい回られるんですか？

千三郎氏（以下 千）「う～ん…（資料を取り出し）…12ヶ所、19公演です。」

正邦氏（以下 正）「京都、大阪、名古屋、三重、富山、広島、鳥取…」

千「2月7日の観世会館から始まって、日本中まわってまた帰ってくるんです。」

○唐相撲の公演はめずらしいんですか？

千「京都でしかしなかったんですよ。不可能やったんです。」

地方まで大勢の出演者を連れて行くということが難しく成り立たなかったんですよ。」

○唐相撲は総勢45人くらいでいるんですね。他の出演者というのは？

千「プロが21人で。あとは素人の狂言をしている若い人をピックアップしました。」

○みどころは？

千「いろんな見方がありますね。衣装もカラフルです。スガおばあちゃん（千作さん、千之丞さんのお母様）が作ったものをベースにして作っているんですけどね、どーんどん増えていくんですよ。」

正「あとは奇想天外な相撲がみどころですね。」

○春秋座バージョンというのは？先ほど『跳ぶ』っておっしゃってましたが、

正「跳んだり、落ちたり、転がったり…」

千「大変なのは“日本人”なんです。（正邦さんは日本人の相撲取りを演じます。）

正「従来、8番ある組手が、3番増えるかもしれません。」

○春秋座は歌舞伎劇場なんですが、他の地方で歌舞伎劇場でというのは？

千・正「他はないですね。」

○一番の違いは何でしょう？

正「まあ…広さ…それに舞台機構が違います。能舞台は空間があるだけで、ここでは廻り舞台がある、とか能舞台ではできないことができます。」

千「いろいろ試せますよね。それに可能性が逆に広がりますよね。」

能舞台ではたやすいことが、ここでは出来なかったりする。

能には柱があるが劇場には無い。そこをどうするか考えるのが楽しいんです。」

○そういう演出などを考えるのは千三郎さんなんですか？

千「だいたいそうですね。唐相撲に関してそのものの出方は変えてないです。」

ベースはそのままです。各劇場でどうやってやるか、

アイデアを出すだけです。柱のことなんかは、

みんなで相談の上で決めていきます。」

正「相撲の組手は、対個人で、

それぞれやるもんで決めてるんですよ。」

○今回見逃したら、しばらく見られないですか。

千・正（ふたり声をそろえて）「こんな唐相撲はみれへんねー。」

千「茂山家の人数が今は多いですからね。」

5年経てば今回するだけの相撲が取れなくなる。

体力的にも無理になるので。次の世代に、

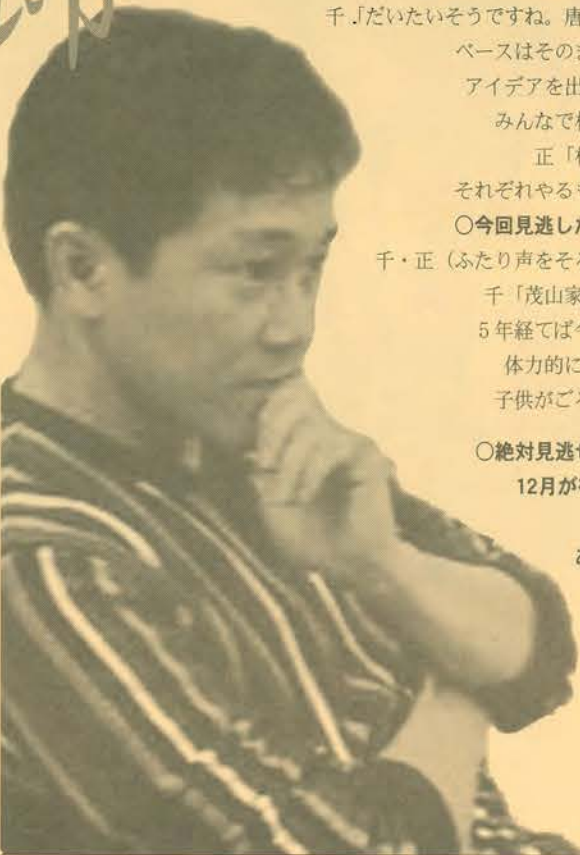
子供がごろごろきたらできるかもなー。」

○絶対見逃せない！ということですね。

12月が待ち遠しいです。お忙しい中、

ありがとうございました。

狂言師
茂山千三郎



狂言師
茂山正邦



春秋座

11月～2003年4月公演予定表

日	催し物	時間	内容	問合せ先	会場	チケット発売 ()内は会員前売料金
◇11月						
11/9 土	京都文芸復興シリーズ 第2回 「井上八千代 京舞の夕べ」★	①13:00開演 ②16:30開演	出演:井上八千代・井上かづ子、 芸妓・地方 演目:「口切」「鉄輪」「信乃」 「十二月」	京都造形芸術大学 劇場企画運営室 TEL/075-791-8240	春秋座	◎全席指定 発売中 一般 6,000円 (5,500円) 学生 1,500円
11/11 月	NDK 第44回トータルモードショー	①15:00開演 ②18:30開演	①新人デザインコンテスト ②NEXT作品ショー ③正会員ショー	京都造形芸術大学 劇場企画運営室	春秋座	◎一部指定 一般3,000円
11/23 土	お題目のある音楽会 『梵音聲』	14:00 開演	伎楽、声明、声楽、和太鼓、舞楽など、 関西の様々な団体による15のステ ージが繰り広げられます。	大本山 本能寺 TEL/075-231-5335 FAX/075-211-2838	春秋座	発売中 前売/2,000円 全席指定
11/27 水	京都文芸復興シリーズ 『千麗舞の夕-古典への回帰-』 ★	19:00 開演	出演:西川千麗 ほか 演目:「八島」「山姥」「お夏狂乱」 「春秋」	京都造形芸術大学 劇場企画運営室	春秋座	発売中 1階=指定席6,000円(5,500円) 2階=自由席3,000円(2,700円) 造形大生/1,500円
◇12月						
12/3 火	上演実験シリーズvol. 5 能「望恨歌」 狂言「はしくれ法師」★	18:30 開演	能「望恨歌」 作:多田昌 雄 出演:親世榮夫 ・宝生欣哉・茂山七五三 狂言「はしくれ法師」 作:青木道喜 出演:荒山千之丞・丸石ゆづり	京都造形芸術大学 劇場企画運営室	春秋座	◎全席指定 発売中 当日 3,500円 前売一般 3,000円(2,700円) 学生 1,500円 (当日2,000円)
12/14 土	京都造形芸術大学連続公開講座 「こども芸術大学」の思想を世に問う 第二回「子どもの宇宙とこども芸術大学」	14:00～16:00	講演「子どもの宇宙とこども芸術大学 (仮題)」 河合隼雄	京都造形芸術大学 こども芸術大学準備室 TEL/075-791-8134	春秋座	無料
12/21 土	京都文芸復興シリーズ 茂山狂言会 「唐相撲」特別公演 千秋楽	①15:00開演 ②19:00開演	稀曲「唐相撲」の2002年全国展開公 演の千秋楽春秋座をいかしての特別 公演	京都造形芸術大学 劇場企画運営室	春秋座	完売イタシマシタ
12/23 月	高校演劇コンクール近畿大会優秀校 第2回 春秋座招待公演 「演じる高校生」	14:00開演	全国高校演劇コンクール近畿大会 最優秀校と2位校の上演	京都造形芸術大学 劇場企画運営室	春秋座	発売中 一般 1,000円 学生 500円
◇2003年1月						
1/11 土	京都造形芸術大学連続公開講座 「こども芸術大学」の思想を世に問う 第三回「芸術の中の子どもたち」	14:00～16:30	基調講演「絵の中の子どもたち」 高階秀爾 基調講演「伝統芸能と子どもたち」 井上八千代 鼎談「芸術の中の子どもたち」 高階秀爾・井上八千代・芳賀徹	京都造形芸術大学 こども芸術大学準備室 TEL/075-791-8134	春秋座	無料
◇2月						
2/22 土	京都造形芸術大学連続公開講座 「こども芸術大学」の思想を世に問う 第四回「子どもと自然とこども芸術大学」	14:00～16:00	基調講演「身近ないのちに学ぶ」 梶田真章 対談「子どもと自然と こども芸術大学」 梶田真章・原田憲一	京都造形芸術大学 こども芸術大学準備室 TEL/075-791-8134	春秋座	無料
◇3月						
3/2 日	第7回 左京区文化フェスティバル	13:00開演	日頃から自主的な文化・芸術活動を されている区民の団体・グループが 活動の成果を披露する。また区内に 伝承されている伝統芸能などを紹介 する。	左京区役所 地域振興課 TEL/075-771-4211	春秋座	無料
3/29 土	上演実験シリーズvol. 8 『門 Gate』 ～韓国と日本、 身体に現れる音楽性・ 音楽に現れる身体性、 その比較と可能性～	未定	作品・空間コンセプト:太田省吾 出演:金恩姫(キム・ウンヒ)、 方玄恵(ハン・ソネ)、 高橋悠治、高田和子、長須与佳 親世榮夫、山田せつ子、 姜泰煥(カン・テファン)、 キム・ウニ	京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター TEL/075-791-9437	春秋座	未定
3/30 日						
◇4月						
4/26 土	ミュージカル「アテルイ」	18:30開演	わらび座創立50周年記念作品とし て、中村時夫を演出に招き、朝倉 の装置・美術、甲斐正人の音楽で共 同制作したミュージカル。2001年8 月から2004年3月まで500回のロン グラン・ミュージカルです。	京都造形芸術大学 劇場企画運営室 TEL/075-791-8240 (株)わらび座 関西事務所 TEL/06-6864-9600	春秋座	11月15日(金)前売り開始 当日 一般 5,000円 前売 一般 4,500円(4,000円) 造形大生1,500円
4/27 日		14:00開演				

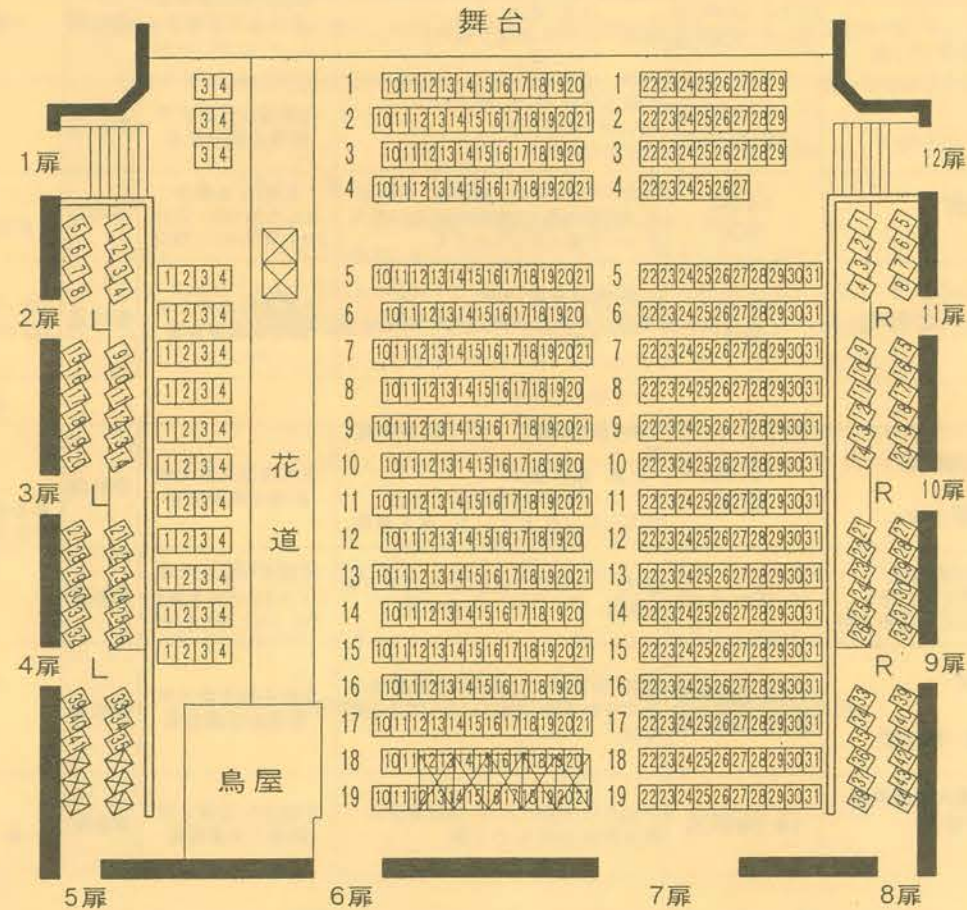
●「春秋座」は京都芸術劇場 大劇場、「studio21」は京都芸術劇場 小劇場です。

●星印(★)は大学主催公演です。

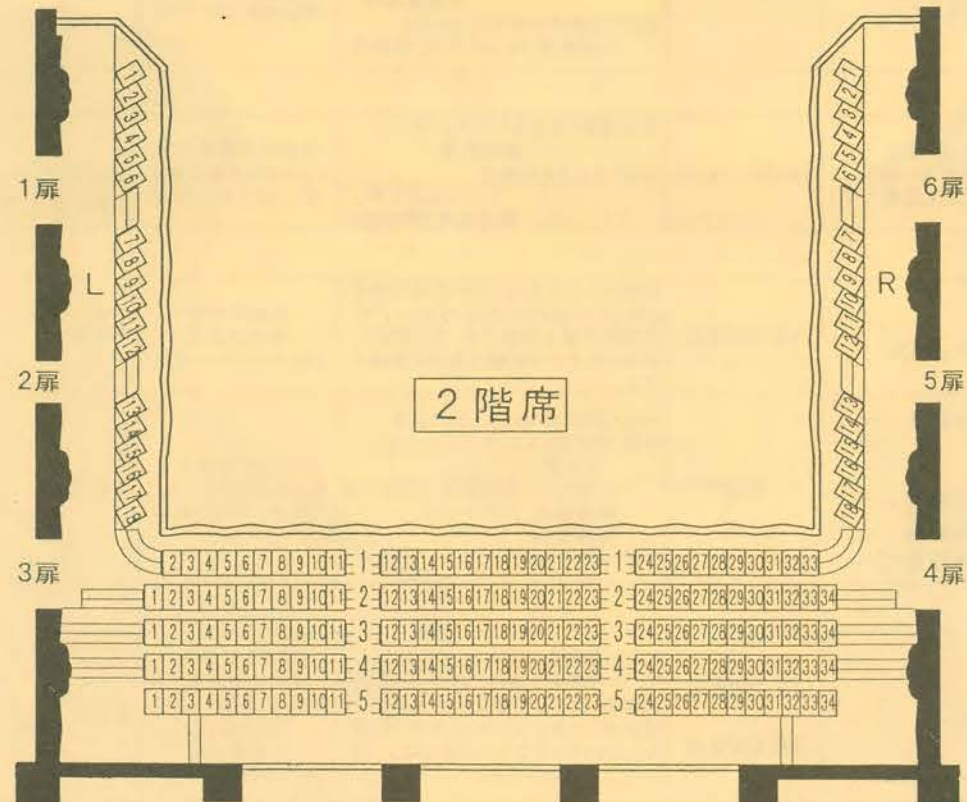
京都芸術劇場（春秋座）座席表

花道使用時
1階 531席
2階 204席
合計 735席
(-117席)

1階席



オケストラ使用時
-102席



2階席

造形大生の目

京都狂言協奏曲

歴史遺産学科 3回生 政野地子

茂山家の狂言は、面白い。これは関西ならではの、人間国宝・茂山千作の技なのか。ともかく、「お豆腐狂言」と通称されるだけあって、親しみやすさも折り紙つきである。その茂山狂言が、ついに春秋座にやってくる！それだけでもニュースなのに、その演目が、幻の狂言というだけあって、茂山家の強烈なFanでなくとも注目されていることであろう。


「能狂言」という表現をするように、能楽と狂言は、兄弟である。その昔、中国の「散楽」という芸能から派生したという。散楽は、雑技的な芸能であったらしいことから、狂言は能楽の兄貴分といえるであろう。両者の違いを本当に極端にいうならば、能は昼の連ドラ、狂言は新喜劇ともいえるであろうか？

狂言が単独で舞台にあがるのは最近になってからの傾向である。基本的には、能と能の間の小休止的役割を果たしたり、能の前場と後場（前半と後半）の中継ぎをしたりと、縁の下の存在であった。能舞台上に能を観に行く。能が終わって狂言になると、席を立ってしまっていたり、ざわさわしだしたりした光景は、ほんの最近まで当たり前のようのものであった。これが少なくなったのは、昨今の狂言ブームによる力に他ならない。ところで、ブームに関係なく、狂言師はたくさんいらっしゃるが、実は流派が二つあるのである。「大藏流」と「和泉流」、二つ合わせて「狂言方」ができあがるのである。いま話題に上げている茂山家は、大藏流。野村萬斎氏や、和泉元彌氏は和泉流である。


最後に豆知識☆唐相撲の40を超える衣装の数々、あれは一般の狂言の演目には使われない特殊なものばかり。なんと茂山家の女性がたの手によるもの。前の方に席の取れた幸運な人は、目を凝らして、愛の衣装を観察するのも乙、かと思われる。

公演スケジュール


11月27日(水) 19:00~ 千麗舞の夕〜古典への回帰〜 チケット発売中
 1階指定席6,000円(会員前売り5,500円) 2階自由席3,000円(会員前売り2,700円) 京都造形芸術大学生1,500円
 2000年のポーランド公演で絶賛された「よだかの星」から二年。構成・脚本・振付までを手がけるオリジナル公演で、能シテ方観世榮夫氏や、大藏流狂言師茂山千之丞氏とも共演してきた舞踏家西川千麗。ジャンルを超え、国境も越える彼女が、スイス・ドイツでの公演を経て、古典に立ち戻り舞う。春秋座の名に因んだ新作「春秋」をはじめ、常盤津「お夏狂乱」「山姥」。日本の美の世界をご覧ください。




12/3(火) 18:30~ 上演実験シリーズvol.6 狂言「はしくれ法師」能「望根歌」チケット発売中
 一般3,000円(当日3,500円) 学生1,500円(当日2,000円) 会員前売り2,700円
 第二次世界大戦時、若くして夫を強制連行で奪われ、韓国の寒村で、一人暮らす老女。そこにもたらされた在りし日の夫の手紙・・・能「望根歌」は、免疫学者・多田富雄氏による新作能。ドキュメンタリー番組で目にした実在の韓国の女性の姿から能にすることを決めたという。韓国風の衣装・道具、そして百済民謡を基にした朝鮮語での謡（うたい）などで、老女の哀しみ、痛みが「恨の舞」となって表現されます。古典を演劇として現代のまなざしで上演する試みです。ご期待下さい。出演はシテ=観世榮夫ほか。他に、青木道喜作、茂山千之丞、丸石やすしによる狂言「はしくれ法師」



12/21(土) ①15:00~ ②19:00~ 同日2回公演 茂山狂言会 ※10/28前売り開始 全席指定 S席8,000円(会員前売り7,200円) A席5,000円(会員前売り4,500円) B席3,000円 造形大学生1,500円
 稀曲「唐相撲」がついに春秋座にやってきます！日本の相撲取りと唐の人々の気合十分、摩訶不思議な取組みの数々に、抱腹絶倒間違いなし！華麗な衣装と、茂山一門総出演でのにぎやかな舞台をお楽しみください。日本中を巡り、地元京都へ帰ってとうとう千秋楽。歌舞伎劇場・春秋座を使っの特別ヴァージョンで、二度と観れない唐相撲。さてさて、勝負の行方はいかに・・・？他に「呼声」「月見座頭」
 ※春秋座劇場企画運営室ではB席の販売はありません。



12月23日(月) 14:00~ 高校演劇コンクール近畿大会優秀校招待公演・演じる高校生 9/24前売り開始 一般1,000円 学生500円
 あなたは高校生の演劇を見たことがありますか？スポーツの世界で高校生が大活躍しているように、演劇の世界でも高校生は元気滝刺としています。京都芸術劇場 春秋座で、今年度の近畿大会最優秀校、第2位校を招待し、条件の良い舞台で思いっきり演じてもらう、第2回「演じる高校生」純粋で瑞々しい高校生の演劇に、再び触れて下さい。



チケット購入方法

チケットお求めの方は、劇場企画運営室 NA312(京都造形芸術大学 人間館A棟3F)までお立ち寄り下さい。
 お電話でのご予約も承ります。その際、友の会会員である事を必ずお伝え下さい。遠方にお住まいの方には、現金書留でのお支払いをご案内しておりましたが、この度郵便振替口座の準備が整いましたので、今後は郵便局からのご入金も可能です。ご利用になられる方は、チケットお申込みの際にお知らせ下さい。

京都芸術劇場企画運営室
 〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山2-116
 TEL 075-791-8240 FAX 075-791-9438